

# 誌上のユートピア

絵画と美術雑誌の交感——1889-1915

Utopia of Images and Letters

Japanese Modern Art and Art Magazine, 1889-1915

会 期：2008年1月26日(土)～3月9日(日)

休 館 日：月曜日(ただし2月11日は開館)、2月12日(火)

開館時間：午前9時30分～午後5時[入館は午後4時30分まで]

観 覧 料：一般1000(900)円 20歳未満・学生850(750)円 65歳以上500円

\* ( )内は20名以上の団体料金です。\* 高校生以下の方、障害者の方はすべて無料です。

会 場：神奈川県立近代美術館 葉山 〒240-0111 三浦郡葉山町一色2208-1 tel. 046-875-2800

主催：神奈川県立近代美術館、読売新聞社

美しい美術雑誌の誌面を飾る華麗なイメージの数々。それらが芸術家たちの発表の場であると同時に、おたがいに情報を交換し、創造的な刺激の場となる — そのような誌上のユートピアが出現したのはいまから百年ほど前のことでした。

本展は、19世紀から20世紀の世紀の転換期に、めざましく発展した印刷技術を背景につぎつぎと生まれた美術雑誌を紹介し、その美的な価値を再確認するとともに、同時代の日本近代の絵画にもスポットを当て、その相互関係にも注目しようとする試みです。

導入部としてヨーロッパの美術雑誌の事例をいくつか紹介し、それが日本にもほぼ同時に芸術的な美術雑誌と連動し、いつくかの同時代意識に裏打ちされた新たな表現が生まれ、さらには、ときに江戸趣味や南蛮趣味へ傾斜しつつ、ついには象徴主義的な濃密な気分を背景に抽象的な表現までが模索されたことを明らかにします。

## 1) 序章 美術雑誌の隆盛と印刷技術の発展

ヨーロッパの美術雑誌。『ユーゲント』『ヴェル・ザクラム』『イエローブック』など

## 2) 白馬会の周辺

『光風』『明星』など。藤島武二、青木繁の油彩画、杉浦非水、橋口五葉などのグラフィック作品

## 3) 浅井忠周辺の京都

『小美術』 浅井忠、神坂雪佳など

## 4) パンの会の周辺

『方寸』 石井柏亭、北原白秋、森田恒友、織田一磨など

## 5) 伝統の発見・復興・屈折

泉鏡花の周辺 鏑木清方など 『国華』など

## 6) 教養とデカダンス

『白樺』『科学と文芸』『平旦』『月映』など 恩地孝四郎、萬鉄五郎、久米民十郎など

油彩20点、日本画15点、版画・デッサン80点、ポスター20点、雑誌30件など総計約180点を展示予定。

美術館ホームページに掲載される下記のプレス情報をご覧ください。

[http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2007r\\_utopia.pdf](http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/press/2007r_utopia.pdf)

お問い合わせ先：

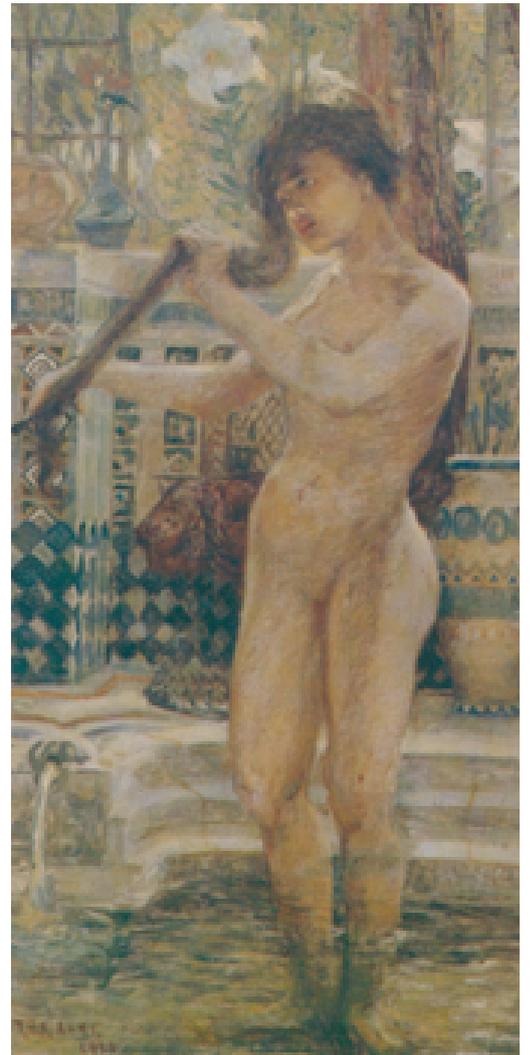
神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1 tel. 046-875-2800 / fax. 046-875-2968

<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/> 広報担当：山内 展覧会担当：水沢、橋



織田一磨《海を渡る蝶》に飾られた雑誌『方寸』第2巻第3号の誌面（部分）、  
1908年 神奈川県立近代美術館蔵



青木繁《温泉》1910年 油彩、カンヴァス  
69.8×35.0cm 個人蔵



ヨハン・マリア・アウヘンターラー  
《聖なる春のために》に飾られた雑誌『ヴェル・ザラム』第1巻第7号の誌面（部分）、  
1898年、個人蔵



橋口五葉《夏目漱石『草合』(表紙)》漆画装丁  
22.5×15.1×3.7cm うらわ市美術館蔵